

タイトル	研究者	分類	小分類	年度	年	論文誌名、書籍名	編集者	都市名	出版社	巻	号	ページ
統合失調症を考える	前田久雄	発表論文	その他	2005	2005	こころの科学				120		135-136
統合失調症における情動障害	前田久雄	発表論文	総説	2005	2005	精神科治療学				20		347-354
心理教育と薬物療法～心理教育を経験することによって抗精神病薬のメリットが本人に実感された例	内野俊郎, 牧田 潔, 前田正治	発表論文	症例報告	2005	2005	Schizophrenia Frontier				6		289-294
統合失調症の高次脳機能の特徴－健常者との比較検討－	森田喜一郎	発表論文	原著	2005	2005	久留米医学会雑誌				68		221-230
ブライマリケア再考	前田久雄	発表論文	その他	2005	2004	ほすびたる				563		6-7
生物学的評価および生活就労能力評価による脳外傷後高次脳機能障害者の認知機能の特徴－健常者との比較検討－	森田喜一郎, 渡辺レイ子, 重森 稔, 徳富孝志, 小路純央, 富田 克, 西浦佐知子, 山本寛子, 前田久雄	発表論文	原著	2005	2004	神経外傷				27		105-110
統合失調症を合併したターナー症候群の2例	大治太郎, 松山歌夜子, 櫻井齊司, 山口栄一, 石田開太, 橋爪祐二, 山田茂人, 前田久雄	発表論文	症例報告	2005	2005	九州神経精神医学				51		29-35
DPCを導入して－課題と展望－	前田久雄	発表論文	その他	2005	2004	福岡県医報				1339		6-7
統合失調症にみられる情動認知障害の認知神経科学	前田久雄	発表論文	総説	2005	2005	最新精神医学				10		75-80
地域社会からみて精神科病院に期待されるもの	前田久雄	発表論文	その他	2005	2005	福精協会誌				371		2
陽性・陰性感情負荷が探索眼球運動に及ぼす影響	石井洋平, 森田喜一郎, 西浦佐知子, 岡村尚昌, 牧田 潔, 倉掛交文, 津田 彰	発表論文	原著	2005	2005	久留米医学会雑誌				68		159-167
女性勤務医の現状と今後の課題－久留米大学における現状と課題	前田久雄	発表論文	その他	2005	2005	勤務医のつどい				35		2
組織管理者の役割	前田久雄	発表論文	総説	2005	2005	臨床精神医学				34増刊号		54-58
死別の予期と他者への相談が死別後の悲嘆反応と対処行動に与える影響－一般成人を対象として	辻丸秀策, 土橋功昌, 大西 良, 福山裕夫	発表論文	原著	2005	2004	久留米大学比較文化年報誌				13		111-126
認知症高齢者における視覚認知機能の生理学的評価－統合失調症高齢者および健常高齢者と比較して－	中山広宣, 早坂友成, 森田喜一郎, 前田久雄	発表論文	原著	2005	2005	国際医療福祉大学リハビリテーション学部紀要				1		11-17
「精神障害」イメージの諸相－福祉学生を対象として－	辻丸秀策, 大西 良, 土橋功昌, 福山裕夫	発表論文	原著	2005	2004	久留米大学比較文化年報誌				13		127-150
笑いと癒し	森田喜一郎	発表論文	総説	2005	2005	癒しの環境				10		19-27
アルコール症の季節性に関する研究	辻丸秀策, 大西 良, 恵紙英昭, 大岡由佳, 福山裕夫, 山本 亨	発表論文	原著	2005	2005	日本アルコール精神医学雑誌				11		5-14
久留米大学病院における抗精神病薬使用の調査研究	前田久雄, 石田重信, 丸岡隆之, 大江美佐里	発表論文	その他	2005	2005	厚生労働省科学研究費補助金 障害保健福祉総合研究事業 精神科急性期病棟・リハビリテーション 分担研究報告書						60-71
精神科看護職のバーンアウトについて－他職種との比較から－	山口智也, 大西 良, 大岡由佳, 鎌田みずす, 辻丸秀策	発表論文	原著	2005	2005	久留米大学心理学研究				4		127-134
統合失調症の基本障害に基づいた診断装置の実用化に関する研究	前田久雄, 森田喜一郎	発表論文	その他	2005	2005	厚生労働省科学研究費(こころの健康科学研究 事業) 統合失調症の基本障害に基づいた 診断装置の実用化に関する研究 平成16年度総括・分担研究報告書						29-33
病的悲嘆はPTSDといい得るか	土橋功昌, 辻丸秀策, 千葉起代	発表論文	総説	2005	2005	精神医学				47		305-312
病氣と薬の説明ガイド2005 不眠症	内村直尚, 松山誠一郎	発表論文	総説	2005	2005	薬局				56 (増刊号)		373-384
対談 睡眠外来の実際	内村直尚, 久保千春	発表論文	その他	2005	2005	臨床と研究				82		879-886
中学生の相談ニーズとイメージとの関連性について－開かれた相談室活動を重視するスクールカウンセラーを通して－	大西 良, 辻丸秀策, 鎌田みずす, 大岡由佳, 山口智也, 岩永直美, 福山裕夫	発表論文	原著	2005	2005	久留米大学文学部紀要 社会福祉学科編				5		27-35
睡眠時の異常現象周期性四肢運動障害	内村直尚	発表論文	総説	2005	2005	臨床と研究				82		789-791

「精神医学」受講における学生の精神障害者イメージの変化	大西 良, 辻丸秀策, 鍋田みすず, 大岡由佳, 山口智也, 岩永直美, 福山裕夫	発表論文	原著	2005	2005	久留米大学文学部紀要 社会福祉学科編				5		37-46
睡眠障害の診断と治療	内村直尚	発表論文	その他	2005	2005	分子精神医学				5		475-482
よりよい睡眠が心身の健康を保つ	内村直尚	発表論文	その他	2005	2005	ふくおか精神保健				50		53-58
ホームレス支援における福祉的アプローチの意義 ーホームレスとなったDV 女性に対するソーシャルワークの一例からー	大岡由佳, 辻丸秀策, 菊池哲子, 大川絹代, 大西 良, 鍋田みすず, 岩永直美, 福山裕夫	発表論文	原著	2005	2005	久留米大学文学部紀要 社会福祉学科編				5		47-56
睡眠薬	内村直尚, 比江嶋啓至	発表論文	総説	2005	2005	精神科				6		441-447
生活習慣と睡眠	内村直尚	発表論文	総説	2005	2005	クリニカルプラクティス				24		852-856
生活習慣病と不眠	内村直尚	発表論文	その他	2005	2005	PROGRESS IN MEDICINE				25		2617-2623
患者家族と一般家族の統合失調症に対する社会的距離とイメージー多面的調査からの比較ー	鍋田みすず, 辻丸秀策, 大西 良, 岩永直美, 大岡由佳, 山口智也, 福山裕夫, 石田重信, 牧田 潔, 内野俊郎	発表論文	原著	2005	2005	久留米大学文学部紀要 社会福祉学科編				5		57-67
中・高年期の不眠	内村直尚	発表論文	総説	2005	2005	性差と医療				2		933-939
精神保健福祉士の新人教育の現状と大学の役割 ー久留米大学文学部社会福祉学科PSWコース第1回卒業生へのアンケート調査結果よりー	岩永直美, 辻丸秀策, 大西 良, 鍋田みすず, 大岡由佳, 福山裕夫	発表論文	原著	2005	2005	久留米大学文学部紀要 社会福祉学科編				5		69-77
睡眠薬は正しく処方されているか	内村直尚	発表論文	その他	2005	2005	ずいみん'ing				12		2-7
生活習慣病と睡眠の深い関係	内村直尚	発表論文	総説	2005	2005	毎日ライフ				6		72-75
睡眠薬の正しい使い方	内村直尚	発表論文	その他	2005	2005	Medical Tribune					特別企画	60
日中の過眠の実態とその対策に関する研究	内村直尚, 土生川光成, 山本克康, 小鳥居 望	発表論文	その他	2005	2005	睡眠時無呼吸症候群におけるQOLに関する 検討 厚生科学研究費補助金 平成16年度報告書						60-64
PTSDの発症要因と予防的介入	前田正治, 大江美佐里	発表論文	総説	2005	2005	看護技術				51		15-19
一般内科を受診している身体疾患患者の不眠治療の現状と問題点(1)問診状況と不眠症状	内村直尚, 橋爪祐二, 土生川光成, 小鳥居 望, 山本克康, 大川敬秀, 松山誠一郎, 桑原啓郎	発表論文	原著	2005	2005	Pharma Medica				23(7)		105-108
入眠障害を治療する	内村直尚, 高岡俊夫	発表論文	その他	2005	2005	日経メディカル				7		87-90
身体表現性障害ー身体科医師とどう連携をとるか	恵紙英昭	発表論文	総説	2005	2005	精神科				6		464-470
一般内科を受診している身体疾患患者の不眠治療の現状と問題点(2)睡眠薬の処方状況	内村直尚, 橋爪祐二, 土生川光成, 小鳥居 望, 山本克康, 大川敬秀, 松山誠一郎, 桑原啓郎	発表論文	原著	2005	2005	Pharma Medica				23(8)		83-86
精神科急性期治療病棟退棟患者の特徴と患者の再入院を予測する要因	小山明日香, 石田重信, 丸岡隆之, 伊藤弘人, 前田久雄	発表論文	原著	2005	2004	臨床精神医学				33		1501-1507
不眠症に対する薬物療法に関する研究	内村直尚, 橋爪祐二, 小鳥居 望, 土生川光成, 山本克康, 松山誠一郎, 大川敬秀, 竹内 暢, 桑原啓郎, 前田久雄	発表論文	その他	2005	2005	厚生労働省 精神・神経精神疾患研究委託費 睡眠障害の診断・治療ガイドラインを用いた 臨床的実証研究 平成14年度～平成16年度 総括研究報告書						49-61
睡眠時無呼吸症候群患者における日中の覚醒レベル及び気分状態、GOL、認知機能に関する検討	内村直尚	発表論文	その他	2005	2005	厚生労働科学研究費補助金 健康科学総合 研究事業 24時間社会における睡眠不足・ 睡眠障害による事故および健康被害の実態と 根拠に基づく予防法開発に関する研究 平成14年度～平成16年度 総合研究報告書						61-67
統合失調症における薬物療法の導入・継続と心理教育的アプローチ	内野俊郎, 前田正治	発表論文	総説	2005	2005	臨床精神薬理				8		13-22
一般内科を受診している身体疾患患者の不眠治療の現状と問題点(3)睡眠薬に対する意識	内村直尚, 橋爪祐二, 土生川光成, 小鳥居 望, 山本克康, 大川敬秀, 松山誠一郎, 桑原啓郎	発表論文	原著	2005	2005	Pharma Medica				23(9)		85-89
治療導入期における入院集団療法ー急性期治療病棟での試みー	丸岡隆之, 山内今日子, 前田正治, 大江美佐里, 恵紙英昭, 田中みとみ, 後藤直樹, 小鳥居 望, 前田久雄	発表論文	原著	2005	2004	精神科治療学				19		1453-1460
不眠症の診断と治療	小鳥居 望, 内村直尚	発表論文	総説	2005	2004	Pharma Next				12		80-83

消防隊員のメンタルヘルス調査 ストレス性精神障害の予防と介入に携わる専門職のスキル向上とネットワーク構築に関する研究	前田正治, 矢島潤平, 大岡由佳	発表論文	その他	2005	2004	平成16年度厚生労働科学研究分担報告書						43-55
睡眠障害の治療をめぐる一研修医と指導医に向けて一	大川匡子, 内村直尚, 井上雄一	発表論文	その他	2005	2005	臨床精神薬理					8	1463-1484
レム睡眠行動障害の治療	松山誠一郎, 内村直尚	発表論文	総説	2005	2005	Modern Physician					25	47-53
薬物依存と遺伝子関連研究	氏家 寛, 稲田俊也, 原野睦生, 小宮山徳太郎, 山田光彦, 関根吉統, 曾良一郎, 岩田仲生, 伊豫雅臣, 尾崎紀夫	発表論文	原著	2005	2004	精神神経学雑誌					106	1598-1603
Zolpidemの夜間睡眠および翌朝の眠気および影響一Brotizolamを対照とした比較試験一	内村直尚, 桑原啓郎, 野瀬 巖, 橋爪祐二, 大山 哲, 土生川光成, 小鳥居 望, 松山誠一郎, 山本克康, 大川敏秀	発表論文	原著	2005	2005	新薬と臨床					54	22-34
妊娠と睡眠障害	座親扶美江, 前田正治, 丸岡隆之	発表論文	総説	2005	2004	臨床精神薬理					7	1905-1913
プライマリケア医、一般医のための不眠症の診断と睡眠薬導入剤選択のポイント	堀口 淳, 内村直尚	発表論文	その他	2005	2005	Medical Tribune					38	22-23
睡眠センターの活動	土生川光成, 内村直尚, 松山誠一郎	発表論文	総説	2005	2005	臨床精神医学					34	71-78
久留米大学病院における急性期治療病棟の運営	恵紙英昭, 田中みとみ, 丸岡隆之, 後藤直樹, 小鳥居 望, 大江美佐里, 近間浩史, 前田久雄	発表論文	原著	2005	2005	精神科救急					8	70-77
久留米大学病院における抗精神病薬治療の実態一退院患者を対象とした処方調査より一	大江美佐里, 植田健嗣, 後藤直樹, 小鳥居 望, 丸岡隆之, 恵紙英昭, 前田久雄	発表論文	原著	2005	2004	九州神経精神医学					50	179-184
慢性統合失調症を対象としたhaloperidolからrisperidoneへのswitchingについて一PANSS, DIEPSS, QOL26による検討一	木岡大進, 近間浩史, 森田喜一郎, 小鳥居 望, 前田正治, 内野睦生, 内村直尚, 本間五郎, 堀川周一, 向笠広和, 前田久雄	発表論文	原著	2005	2005	臨床精神薬理					8	1257-1263
精神科急性期の現状と今後の機能および配置等に関する研究	平田豊明(分担研究), 恵紙英昭, 川畑俊貴, 小沼杏埜, 佐藤茂樹, 杉山直也, 武井 満, 八田耕太郎, 藤村尚宏, 吉住 昭(研究協力者)	発表論文	その他	2005	2004	平成16年度総括・分担研究報告書 厚生労働科学研究費補助金 障害保健福祉総合研究事業						15-51
(インタビュー)PTSDの研究の現場から惨事ストレス対策に取り組み"風土"づくりを!	前田正治, 吉田美次	発表論文	その他	2005	2005	近代消防					536	54-57
覚せい剤精神病におけるドパミンレセプターD2遺伝子TaqIA多型と脳MRI	原野睦生, 内村直尚, 上野雄文, 安除等思, 石橋正彦, 飯田信夫, 田中得雄, 前田久雄, 曾良一郎, 伊豫雅臣, 橋本謙二, 小宮山徳太郎, 山田光彦, 関根吉統, 稲田俊也, 尾崎紀夫, 岩田仲生, 氏家 寛	発表論文	原著	2005	2005	日本アルコール精神医学雑誌					12	33-41
学校危機とトラウマケア	前田正治	発表論文	その他	2005	2005	福岡県医報					1349	6-7
えひめ丸事故生還生徒に対する包括的ケア	前田正治	発表論文	その他	2005	2005	第13回箱根精神薬理シンポジウム講演録						55-62
ドパミンD1及びD2受容体の刺激はParkinの発現に影響を与えない	山田英孝, 中原原雄, 黒木俊秀, 橋本喜次郎, 堤 哲之, 平野 誠, 前田久雄	発表論文	原著	2005	2005	九州神経精神医学					51	36-41
いつも治療的であること一石坂、村井、北山論文へのコメント一	三木浩司	発表論文	その他	2005	2005	九州大学心理臨床研究					24	25-27
第101回日本精神神経学会J印象記	小路純央	発表論文	その他	2005	2005	精神医学					47	1148-1149
未治療統合失調症者の表情弁別課題視覚事象関連電位(P300)と治療後の推移一ヘロスピロンとリスペリドンと比較一	山本寛子	発表論文	原著	2005	2005	九州神経精神医学					51	19-28
A Polymorphism of DRD2 gene and brain atrophy in methamphetamine psychosis	Harano M, Uchimura N, Abe T, Ishibashi M, Iida N, Yanagimoto K, Tanaka T, Maeda H, Sora I, Iyo M, Komiya T, Yamada M, Sekine Y, Inada T, Ozaki N, Ujike	発表論文	原著	2005	2004	Ann N.Y.Acad Sci					1025	307-315
No association found between the type 1 sigma receptor gene polymorphisms and methamphetamine abuse in the Japanese population: a collaborative study by	Inada T, Iijima Y, Uchida N, Maeda T, Iwashita S, Ozaki N, Harano M, Komiya T, Yamada M, Sekine Y, Iyo M, Sora I, Ujike H	発表論文	原著	2005	2004	Ann N.Y.Acad Sci					1025	27-33
えひめ丸洗事故被害者への調査とケア	丸岡隆之	発表論文	その他	2005	2005	九州集団療法研究会だより					30	30-31
消防隊員にみとめられる外傷後ストレス障害	進藤啓子	発表論文	原著	2005	2005	日本社会精神医学会雑誌					14	78-86
多剤乱用の実態と物質誘発性精神病の遺伝子リスクファクターの解明一FZD3およびCYP2D6遺伝子の検討	氏家 寛, 岸本真希子, 森尾亜希子, 森田幸孝, 大谷恭平, 野村 晃, 稲田俊也, 原野睦生, 小宮山徳太郎, 山田光彦, 関根吉統, 曾良一郎, 岩田仲生, 伊豫雅臣, 尾崎紀夫, 黒田重利	発表論文	その他	2005	2005	厚生労働科学研究費補助金研究「依存性薬物および未規制薬物による神経毒性と精神病の発現機序」平成16年度総括研究報告書						91-99
PTSDへの認知行動療法一治療効果と予測因子に関する文献学的考察	大江美佐里	発表論文	その他	2005	2004	メンタルヘルス岡本記念財団研究助成報告集					16	43-46
No association is found between the candidate genes of t-PA/plasminogen system and Japanese methamphetamine-related disorders: a collaborative study by the Japanese Genetics Initiative for Drug Abuse	Iwata N, Inada T, Harano M, Komiya T, Yamada M, Sekine Y, Iyo M, Sora I, Ujike H, Ozaki N	発表論文	原著	2005	2004	Ann N.Y.Acad Sci					1025	34-38

覚醒剤精神病におけるChromogranin A遺伝子の解析	稲田俊也, 高橋長秀, 石原良子, 齋藤真一, 前野信久, 青山 渚, 李映飛, 前田貴記, 岩下 覚, 岩田仲生, 伊豫雅臣, 原野隆生, 山田光彦, 関根吉統, 曾良一郎, 小宮山徳太郎,	発表論文	その他	2005	2005	科学技術振興調整費 目標達成型脳科学研究「依存性薬物により誘発される精神障害の機構の解明の研究」平成16年度調査研究報告						102-109
Gene polymorphisms of the mu opioid receptor in methamphetamine abusers	Ide S, Kobayashi H, Tanaka K, Ujike H, Sekine Y, Ozaki N, Inada T, Harano M, Komiyama T, Yamada M, Iyo M, Ikeda K, Sora I	発表論文	原著	2005	2004	Ann N.Y.Acad Sci					1025	316-324
An open study of risperidone liquid in the acute phase of schizophrenia	Yoshimura R, Nakamura J, Shinkai K, Goto M, Yamada Y, Kaji K, Kakihala S, Ueda N, Kohara K, Ninomiya H, Egami H, Maeda H	発表論文	原著	2005	2005	Hum Psychopharmacol Clin Exp				20		243-248
Study of association between alpha-synuclein gene polymorphism and methamphetamine psychosis/dependence	Kobayashi H, Ide S, Hasegawa J, Ujike H, Sekine Y, Ozaki N, Inada T, Harano M, Komiyama T, Yamada M, Iyo M,	発表論文	原著	2005	2004	Ann N.Y.Acad Sci				1025		325-334
薬物依存の候補遺伝子の多型解析 :GABAA receptor $\alpha 1$ subunit (GABRA1)、SLC22A3、MOG、SOX10 遺伝子上のhaplotype-tagging (ht) SNPsと覚醒剤使用障害および統合失調症、気分障害との関連解析	尾崎紀夫, 池田匡志, 前野信久, 高橋長秀, 青山 渚, 稲田俊也, 李映飛, 石原良子, 齋藤真一, 岩田仲生, 北木清幸, 鈴木竜世, 北島剛司, 山之内芳雄, 木下葉子, 氏家 寛, 原野隆生, 曾良一郎, 伊豫雅臣, 小宮山徳太郎, 山田光彦, 関根吉統, JGIDA	発表論文	その他	2005	2005	科学技術振興調整費 目標達成型脳科学研究「依存性薬物により誘発される精神障害の機構の解明の研究」平成16年度調査研究報告						110-120
Association study between brain-derived neurotrophic factor gene polymorphisms and methamphetamine abusers in Japan	Itoh K, Hashimoto K, Shimizu E, Sekine Y, Ozaki N, Inada T, Harano M, Iwata N, Komiyama T, Yamada M, Sora I,	発表論文	原著	2005	2005	Am J Med Genet B Neuropsychiatr Genet				132		70-73
Recognition of facial expression and visual P300 in schizophrenic patients: Differences between paranoid type patients and non-paranoid patients	Ueno T, Morita K, Shoji Y, Yamamoto M, Yamamoto H, Maeda H	発表論文	原著	2005	2004	Psychiatry and Clinical Neurosciences				58		585-592
A nonsynonymous polymorphism in the human fatty acid amide hydrolase gene did not associate with either methamphetamine dependence or schizophrenia	Morita Y, Ujike H, Tanaka Y, Uchida N, Nomura A, Ohtani K, Kishimoto M, Morio A, Imamura T, Sakai A, Inada T, Harano M, Komiyama T, Yamada M, Sekine Y, Iwata N,	発表論文	原著	2005	2005	Neurosci Lett				376		182-187
薬物依存候補遺伝子と覚醒剤使用障害患者との関連解析	岩田仲生, 鈴木竜世, 池田匡志, 北島剛司, 山之内芳雄, 木下葉子, 尾崎紀夫, 稲田俊也, 氏家 寛, 原野隆生, 曾良一郎, 伊豫雅臣, 小宮山徳太郎, 山田光彦, 関根吉統, JGIDA	発表論文	その他	2005	2005	科学技術振興調整費 目標達成型脳科学研究「依存性薬物により誘発される精神障害の機構の解明の研究」平成16年度調査研究報告						121-126
初心者のための「患者さんへの心理教育」実践講座	内野俊郎, 牧田 潔, 坂本明子	発表論文	その他	2005	2005	精神看護				8		66-77
A functional glutathione S-transferase P1 gene polymorphism is associated with methamphetamine-induced psychosis in Japanese population	Hashimoto T, Hashimoto K, Matsuzawa D, Shimizu E, Sekine Y, Inada T, Ozaki N, Iwata N, Harano M, Komiyama T, Yamada M, Sora I, Ujike H, Iyo M	発表論文	原著	2005	2005	Am J Med Genet B Neuropsychiatr Genet				135		5-9
Peer-to-peer communication system for sharing electronic medical records	Kobayashi S, Ueno T, Kato K, Nose Y, Harada M	発表論文	原著	2005	2004	The Journal on Information Technology in Healthcare				2		343-352
Functional polymorphism of the NQO2 gene is associated with methamphetamine psychosis	Ohgake S, Hashimoto K, Shimizu E, Koizumi H, Okamura N, Koike K, Matsuzawa D, Sekine Y, Inada T, Ozaki N, Iwata N, Harano M, Komiyama T, Yamada M, Sora I,	発表論文	原著	2005	2005	Addiction Biology				10		145-148
Positive association of AKT1 haplotype to Japanese methamphetamine use disorder	Ikeda M, Iwata N, Suzuki T, Kitajima T, Yamanouchi Y, Kinoshita Y, Sekine Y, Iyo M, Harano M, Komiyama T, Yamada M, Sora I, Ujike H, Inada T, Furukawa T, Ozaki N	発表論文	原著	2005	2005	Int J Neuropsychopharmacol				28		1-5
A case of affective dysregulation, impulsivity and depressive mood of a borderline personality disorder successfully treated with olanzapine	Egami H, Goto N, Chikama K, Fukuyama H, Tsujimaru S, Maeda H	発表論文	その他	2005	2005	International Clinical Psychopharmacology				20		A8
A case of irregular sleep-wake pattern with post-traumatic stress disorder and depressive state treated successfully with fluvoxamine, triazolam and mecobalamin combination	Egami H, Goto N, Chikama K, Uchimura N, Maeda H	発表論文	その他	2005	2005	International Clinical Psychopharmacology				20		A8
The X-box binding protein (XBP1) gene is not associated with methamphetamine dependence	Morita Y, Ujike H, Tanaka Y, Uchida N, Nomura A, Otani K, Kishimoto M, Morio A, Inada T, Harano M, Komiyama T, Yamada M, Sekine Y, Iwata N, Iyo M, Sora I, Ozaki N	発表論文	原著	2005	2005	Neurosci Lett				383		194-198
Haplotype association between GABA α receptor gamma2 subunit gene (GABRG2) and methamphetamine use disorder	Nishiyama T, Ikeda M, Iwata N, Suzuki T, Kitajima T, Yamanouchi Y, Sekine Y, Iyo M, Harano M, Komiyama T, Yamada M, Sora I, Ujike H, Inada T, Furukawa T, Ozaki N	発表論文	原著	2005	2005	Pharmacogenomics J				5		89-95
The effect of bedding on lateral position sleep for OSAHS patients	Hashizume Y, Uchimura N, Miwa M, Nakamura T, Maeda H	発表論文	その他	2005	2005	Sleep				28		174-175
Emotional states and quality of life in patients with obstructive sleep apnea	Habukawa M, Uchimura N, Nose I, Kotorii N, Yamamoto K, Matsuyama S, Hashimoto T, Demizu S, Maeda H	発表論文	原著	2005	2005	Sleep and Biological Rhythms				3		99-105
Phosphorylation of spinophilin by ERK and cyclindependentPK5(Cdk5)	Marie Fütter, Uematsu K, Stewart A,Bullock, Yong Kim, Hugh C.Hemmings, Jr., Nishi A, Paul Greengard, Angus C.Nairn	発表論文	原著	2005	2005	Proceeding of the National Academy of Science of the United States of America				102		3489-3494
Properties of dopamine-induced outward current in neurons of the rat dorsolateral septal nucleus	Asaumi Y, Hasuo H, Akasu T	発表論文	原著	2005	2005	The Kurume Medical Journal				52		57-62
社会不安障害の患者への病態説明のポイント～心理教育的態度を重視する立場から～	内野俊郎, 前田久雄	著書	著書	2005	2005	社会不安障害治療のストラテジー	小山司 編著	東京	先端医学社			98-102
プライマリ・ケア医の分野と専門医の分野	内村直尚	著書	著書	2005	2005	ローテーターのための睡眠医学ー特に各種身体疾患に伴う睡眠障害についてー	内山 真、土井永史、清水徹男 監修	大阪	アステラス製薬			395-399
服薬指導	内村直尚	著書	著書	2005	2005	ローテーターのための睡眠医学ー特に各種身体疾患に伴う睡眠障害についてー	内山 真、土井永史、清水徹男 監修	大阪	アステラス製薬			400-404

うまく眠る秘訣	内村直尚	著書	著書	2005	2005	ローテーターのための睡眠医学ー特に各種身体疾患に伴う睡眠障害についてー	内山 真、土井永史、清水徹男 監修	大阪	アステラス製薬			405-410
いびき、居眠りは要注意ー睡眠時無呼吸症候群ー	内村直尚	著書	著書	2005	2005	久留米大学公開講座28 ライフステージからみた健康診断	石竹達也、佐川公彦 編著	東京	五紘舎			127-143
睡眠薬の使い方	内村直尚	著書	著書	2005	2005	不眠診療ガイドブック	竹宮敏子 監修	東京	三原医学社			16-27
睡眠薬は正しく使えばこわくない	内村直尚	著書	著書	2005	2005	より良い「眠り」のためのステップ4 睡眠薬をよく知ろう	清水徹男 総監修	東京	エルゼビア・ジャパン			1-14
外傷性ストレス障害の臨床	前田正治	著書	著書	2005	2005	惨事ストレスへのケア	松井豊 編著	東京	ブレーン出版			81-106
心の健康診断ーうつ病	恵紙英昭	著書	著書	2005	2005	久留米大学公開講座28 ライフステージからみた健康診断	石竹達也、佐川公彦 編著	東京	五紘舎			67-101
野添病院における新入院患者ミーティングの意義ー2症例を中心にー	丸岡隆之、菊地義人、深井玲華、堀川公平	著書	著書	2005	2005	堀川公平会10周年記念論文選集	堀川公平会10周年記念論文選集編集委員会編纂	福岡	ミフチ印刷紙器 有限会社			65-72
心の傷が語られる場にてー“入れ子”構造の中で行われるアダルトチルドレンミーティングー	菊池義人、堀川百合子、深井玲華、堀川公平、菊池清美、 連理貴司、丸岡隆之	著書	著書	2005	2005	堀川公平会10周年記念論文選集	堀川公平会10周年記念論文選集編集委員会編纂	福岡	ミフチ印刷紙器 有限会社			106-113
睡眠導入薬のやめ方	松山誠一郎、内村直尚	著書	著書	2005	2005	精神科ー専門医にきく最新の臨床	保坂 隆 編集	東京	中外医学社			221-224
睡眠相後退症候群の治療について	小鳥居 望、内村直尚	著書	著書	2005	2005	精神科ー専門医にきく最新の臨床	保坂 隆 編集	東京	中外医学社			157-160
Characteristics of cognitive function in patients with Parkinson's disease :a comparison with healthy subjects.Unveiling the Mystery of the BrainーNeurophysiological Investigation of the Brain	Morita K, Shoji H, Yamamoto H, Nishiura S, Shoji Y, Matsuoka T, Maeda H	著書	著書	2005	2005	The Netherlands Int Congress Series 1278	Tsuiji S, Tobimatsu S, Kakigi R, Uozumi T, Akamatsu N. eds.	Netherlands	Elsevier			344-347
Characteristics of cognitive function in patients with higher brain dysfunction after brain injury :an event-related potential study.Unveiling the Mystery of the BrainーNeurophysiological Investigation of the Brain Functionー	Shoji Y, Morita K, Shigemori M, Yamamoto H, Nishiura S, Maeda H	著書	著書	2005	2005	The Netherlands Int Congress Series 1278	Tsuiji S, Tobimatsu S, Kakigi R, Uozumi T, Akamatsu N. eds.	Netherlands	Elsevier			352-355
Characteristics of cognitive function in patients with sleep apnea syndrome :an event-related potential study.Unveiling the Mystery of the BrainーNeurophysiological Investigation of the Brain Functionー	Nishiura S, Morita K, Habukawa M, Yamamoto H, Shoji Y, Uchimura N, Maeda H	著書	著書	2005	2005	The Netherlands Int Congress Series 1278	Tsuiji S, Tobimatsu S, Kakigi R, Uozumi T, Akamatsu N. eds.	Netherlands	Elsevier			356-358
The improvement of cognitive function reflected by event-related potentials in drug-naive schizophrenia with atypical antipsychotics.Unveiling the Mystery of the BrainーNeurophysiological Investigation of the Brain Functionー	Yamamoto H, Morita K, Shoji Y, Nishiura S, Maeda H	著書	著書	2005	2005	The Netherlands Int Congress Series 1278	Tsuiji S, Tobimatsu S, Kakigi R, Uozumi T, Akamatsu N. eds.	Netherlands	Elsevier			348-351